

2024年12月2日

NPO法人臨床トンネル工学研究所
第16回W+「秋田自動車道 山内トンネル工事」現場見学会報告書



石川稚子(W+リーダー／第一建工)

2024年11月14, 15日の2日間にわたり、奥村組「秋田自動車道 山内トンネル工事」現場見学会を実施致しました。

秋田自動車道は平成3年7月の横手IC～秋田南IC間の開通以降、秋田県の産業、経済の活性化や文化の振興を図る上での基礎的な社会基盤として、かつ秋田県と岩手県、太平洋側を高速で結ぶ重要路線として利用され、重要な役割を果たしています。しかしながら、北上JCT～大曲IC間 約72kmのほとんどが暫定2車線の片側1車線による対面通行という現状であり、冬季積雪期間における安全性や時間信頼性の確保、ネットワークの代替性確保などの理由よりこの度4車線化整備されることとなりました。秋田道4車線化は3区間に分けて事業化されていて、今回の山内トンネルは2018年度末に事業化された「湯田～山内PA間(7.7km)」の一部となります。湯田IC～山内PA間は、トンネル2チューブ(黒沢トンネル、山内トンネル)と橋梁が3橋あります。

1日目の夜には懇親会も開催し、有意義な意見交換が出来ました。今回の見学会開催にあたり、株式会社奥村組様をはじめ、様々な方にご協力頂きましたこと心よりお礼申し上げます。

- * 日時:2024年11月14日(木)、15日(金)
- * 見学現場:秋田自動車道 山内トンネル工事(施工:株式会社奥村組)
- * 参加者:W+より10名、NPO一般公募より3名の計13名
- * 同行者:関東支部等より2名
- * 参加メンバーの声
 - 普段は車で通りすぎる坑口から歩きでじっくり見学でき、非常駐車帯に切り替わる断面、避難連絡坑の迎え掘りなど興味深いものばかりでした。特に非常駐車帯のロックボルトの密な本数は圧巻でした。
 - 沢を埋めてボックスカルバートに流す工事は、昨今橋梁の劣化について何かと問題になっていますが、橋梁ごと埋めてしまうのは驚きました。
 - 箱抜きを支保取り壊し状況を見ることができたのはよかった。
 - 高速道路の4車線化事業は多く発注されていますが、実際の現場は見たことがなかったので、非常に興味深く見学させていただきました。
 - 現場状況を大変丁寧にご説明いただき、有難かったです。避難連絡坑の施工について、実施状況を何かの形でぜひ拝見できればと思いました。
 - 施工中のインバートや、養生設備が設置されているセントルを見学できる機会は少ないので嬉しかった。

